サステナビリティ基本方針

私たち明和地所グループは、企業理念の根幹である「信頼」「共創」「共感」に基づき、お客さま、取引先、 株主、従業員、地域社会など全てのステークホルダーとの対話と協働を通じて、自らの成長とともに、持続 可能な社会の実現を目指してまいります。

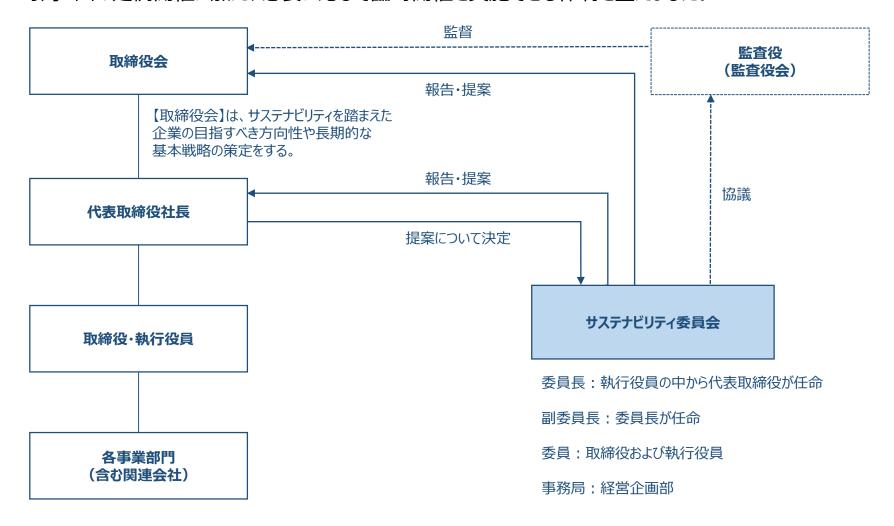
- ●暮らしを豊かにする住まいやサービスの提供により、社会の持続的発展に貢献します。
- 社会や地域の活性化・環境保全を目的とした取り組みを継続します。
- ●コーポレートガバナンス体制の強化やリスク管理を重視し、信頼される企業を目指します。

サステナビリティ推進体制

【体制】

代表取締役が任命した執行役員を委員長とし、取締役および執行役員で構成されたサステナビリティ委員会を新設しました。

毎月1回の定例開催に加え、必要に応じて臨時開催を実施できる体制を整えました。



【役割】

サステナビリティ委員会は以下のような事項に関して協議し、取締役会および代表取締役社長に対し、報告・提案を行います。

- ・サステナビリティに関する基本方針の策定、見直し
- 推進体制の整備
- ・リスクと機会の検討
- ・目標の設定と進捗管理

マテリアリティの特定プロセス

当社グループでは、①ステークホルダーにとって重要であること、②当社グループの事業にとって重要であることの2つの観点から、優先して取り組むべきマテリアリティを抽出し、6つのテーマを設定しました。

STEP1

社会課題の抽出とステークホルダーの要請確認

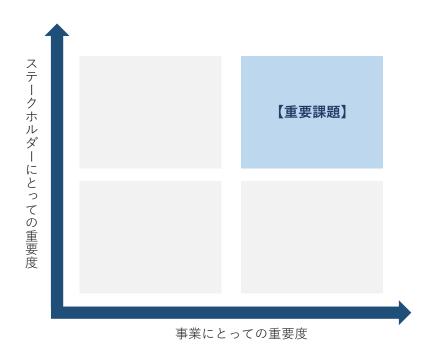
一般的な社会課題を整理し、競合他社のサステナビリティ課題の調査、SASBやS&P Globalなどの外部格付機関の情報を調査しました。

これらの調査を通じて、不動産業界におけるサステナビリティ課題の傾向と、当社への関連性を「FTSE Russell」のESG格付の視点から、社会課題を整理しました。

STEP2

マテリアリティ分析の実施(課題の評価)

整理した社会課題の中から、当社のサステナビリティ課題として20項目を抽出しました。 これらのサステナビリティ課題を、①ステークホルダーにとっての重要度と、②自社の事業にとっての重要度 の2つの観点からマテリアリティ分析を実施しました。

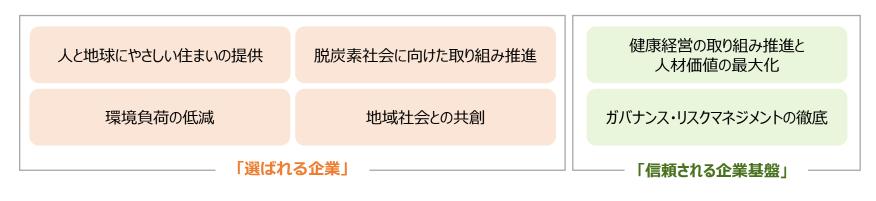


STEP3

マテリアリティの特定

マテリアリティ分析の結果、特に優先度の高いマテリアリティが13項目特定され、これら13項目を6つのテーマに沿って、再構成しました。

また、6つのテーマのうち「人と地球にやさしい住まいの提供」、「脱炭素社会に向けた取り組み推進」、「環境負荷の低減」、「地域社会との共創」の4つは「選ばれる企業」になるための重点項目として、「健康経営の取り組み推進と人材価値の最大化」、「ガバナンス・リスクマネジメントの徹底」の2つは今後も企業として持続していくために必要となる「信頼される企業基盤」を基本項目に位置づけました。



STEP4

テーマの取り組み整理

6つのテーマについて、現状の取り組みを整理し、今後の方針を決定しました。

テーマ毎の取り組み

選ばれる企業 (重点項目)

テーマ	マテリアリティ	現在の取り組み状況	今後の取り組み方針
人と地球にやさしい住まいの提供	サービス・品質の向上	●「CLIO SUPPORT15」などのアフターサービスの提供 ● コロナ禍に対応した接客・マンションの提案 ・非対面(WEB)接客リモートクリオ ・社会変容に対応した設備・システムを導入した「アタラシエ」 ● オリジナル空間の提案に繋がる「conomi」の開発 ● 産学連携の推進 ・2020年度は東京大学と共同研究を実施	●DX推進によるイノベーション創出 ●産学連携の継続強化
	安心·安全の 追求	● 一般の顧客満足度調査での高評価の獲得● マンション管理への理解を深めるためのマンション施設見学会・防災訓練の実施	●「品質管理基準」等マニュアルの遵守徹底 ●【kanri.online】による、サービス、品質、顧 客満足度、収益性のさらなる向上
	お客様とのコミュニケーション促進と提供価値の拡大	 会員組織「ライフスタイルクラブ」の運営 常設のマンションギャラリー「クリオライフスタイルサロン」の設置 リフォーム相談会・完成内覧会の定期的な実施 購入者・入居者へのアンケートの実施 	●お客様への提供価値の拡大 ●顧客満足度の継続的な把握とニーズに合った 新商品の企画・開発の実施
	脱炭素社会への貢献	● 環境共生型住宅の企画推進 ・ZEH-M oriented認定「クリオ レジダンス横濱綱島」竣工 (2022年3月)	●ZEH-M認証取得物件や低炭素認定住宅の増加(2022年10月以降着工の住宅について、原則ZEHオリエンテッド、又は低炭素認定住宅の採用) ●パッシブソーラーシステムの積極採用
脱炭素社会に 向けた取り組み 推進	社会的要請への 対応	● グリーンカーテンの温熱緩和効果に関する調査研究	●CO2排出量の算定と排出量削減の推進 ●TCFDに基づく情報開示の推進
	再生可能エネル ギーへの対応	● 分譲マンションへの太陽光パネルの設置	●再生可能エネルギーの活用検討 ●太陽光パネル設置マンションの増加
環境負荷の 低減	環境影響の低減	開発用地における土地利用履歴、土壌調査の実施汚染土が判明した際の土壌汚染対策工事の実施PCBやアスベストの適正な処理	●買取再販事業の強化 ●自社における節水による環境負荷低減
	廃棄物の削減	●リノベーションマンションによる廃材等の削減 ●リユース・リサイクルの推進 ・モデルルーム使用家具リユース ・衣料品寄付プロジェクトの実施	●社内における3Rの促進 ●DX推進によるペーパーレス化
地域社会との共創	地域社会の 活性化	 地域のローカリティに配慮したデザインで、グッドデザイン賞受賞 「ジュニアフットボールフェスタ CLIO CUP」への特別協賛実施 北海道との包括連携協定の締結 遊休地利用として「クリオ畑」の整備 湘南の茅ヶ崎海岸でのビーチクリーン活動実施 	●再開発事業への参画●近郊×大規模物件への取り組み推進●地域活動への協賛・参加の継続

信頼される企業基盤(基本項目)

テーマ	マテリアリティ	現在の取り組み状況	今後の取り組み方針
健康経営の取り組み推進と人材価値の最大化	人的資本の充実	●グループ行動指針「アクションポリシー」の制定 ●従業員研修の推進	●多様な人材確保 ・女性採用の促進 ・中途採用の促進 ・女性の管理職への登用推進 等 ●従業員研修の充実
	従業員の健康管 理・安全確保	●従業員の健康維持・福利厚生向上を企図した取り組みの推進・健康管理室、トレーニングジム、社員食堂●従業員の安全確保・災害時の安否確認アプリの導入・防災備蓄品の確保	●従業員の健康管理の徹底
ガバナンス・リス クマネジメントの 徹底	リスク管理・コンプ ライアンスの徹底	●リスク管理委員会・コンプライアンス委員会の設置 ●明和地所グループ行動規範の制定と遵守 ●内部通報制度の運用	●リスク管理体制の強化 ●不正防止の徹底
	コーポレートガバ ナンス	●社外取締役、社外監査役の選任●取締役会実効性評価の実施	●コーポレートガバナンス体制の充実・強化 ●指名報酬委員会の設置検討